

非常時給水タンクシステムみずがめ君

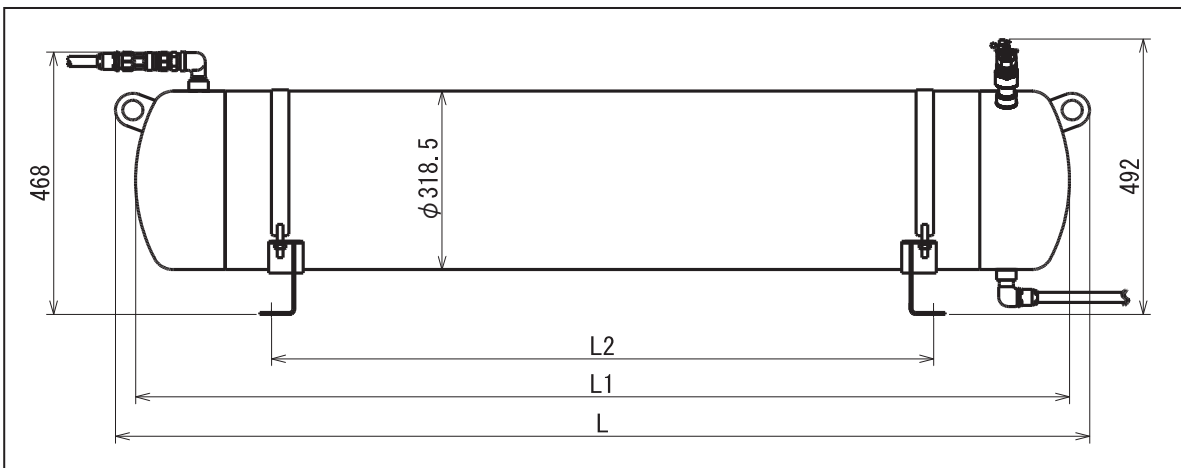
施工要領書



* 施工業者様は必ずご確認ください *

みずがめ君サイズ表

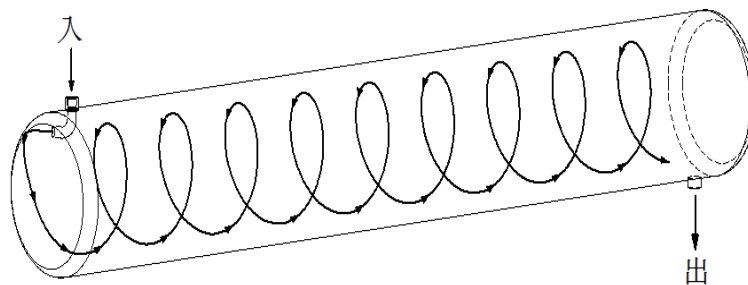
長さ	容量 型式	163L 【300A-W163L】 ※日本水道協会認証品	120L 【300A-W120L】	85L 【300A-W85L】	50L 【300A-W50L】
	L		2238	1685	1230
L1		2168	1615	1160	705
L2 (アンカーボルトピッチ)		1700	1145	690	350



災害時非常時給水システムの特徴

- 給水管路の途中に設置するので常に新鮮な水道水が入れ替ります。
- 災害時には「逆止弁」により、タンク内の水道水の流出を防ぎます。
- 災害時には、加圧ポンプ（足踏みポンプや自転車の空気入れ）で加圧し、家中のどこでも蛇口より給水できます。
- 通常のシステムで約163リットルの貯水が可能ですが、必要に応じて貯水量を増やす事が可能です。
- 通常特別なメンテナンスは必要ありません。

水流イメージ



設置、施工前の確認

みずがめ君の設置前に下記の確認をしてください。

場合によっては、お見積り等に関わりますので事前確認願います。

【新築(リフォーム)による床下設置の場合】

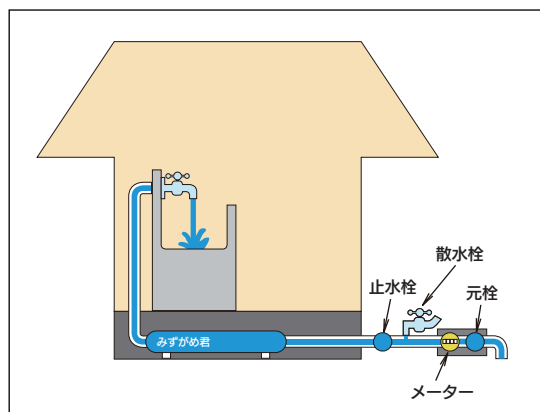
- 床下基礎の高さを確認してみずがめ君が設置可能か否か確認してください。
高さが足りない場合はピットを掘って設置する場合があります。
- みずがめ君使用時に、自動空気抜き栓の開閉、空気バルブへの装着が出来るように点検口(口60cm)を設けてください。
- みずがめ君の手前に止水栓とその先に散水栓を設けてください。
※右図参照

(理由)

災害時により断水した場合、復旧後濁り水等が流れてきますので、出来る限りみずがめ君の中に入れない様、手前の散水栓で確認及び流し続け濁り水等が無くなることを確認するため。



床への点検口の設置例

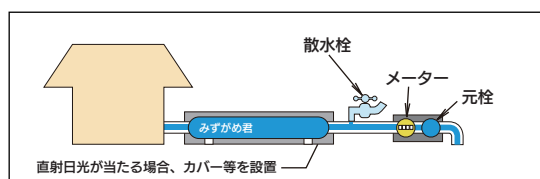


【既存住宅による屋外への設置の場合】

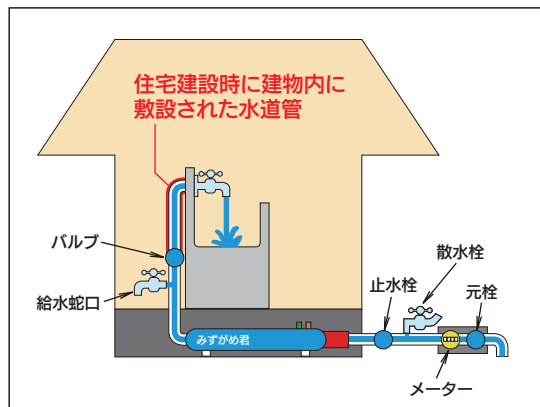
- 水道メーターからの給水管の位置を確認して極力直射日光の当たらない場所に設置してください。
どうしても避けられない場合は、直射日光をささぎるカバー等を施してください。
- みずがめ君の手前に散水栓を設けてください。

(理由)

災害時により断水した場合、復旧後濁り水等が流れてきますので、出来る限りみずがめ君の中に入れない様、手前の散水栓で確認及び流し続け濁り水等が無くなることを確認するため。



既存住宅で築年数が古い場合において、家屋内部にて赤線部の水道管が破損した場合、みずがめ君内部の水が流れ出てしまう可能性もあるため、みずがめ君の後に給水蛇口を設けるか否かの確認をしてください。
また、みずがめ君の後に給水蛇口を設ける場合はその先にバルブを設けてください。



①基礎工事

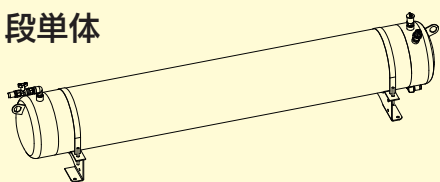
※みずがめ君利用時に、利用者が空気流入バルブと空気抜き弁の操作ができる様な設置をしてください（特に床下設置）

※屋外設置の場合、みずがめ君本体が直射日光に当たらない場所に設置してください。直射日光が避けられない場合、みずがめ君を覆うカバーを設置してください。

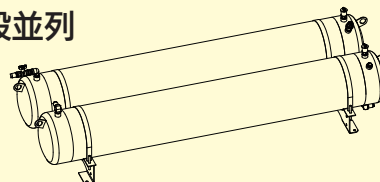
満水時に充分耐える基礎工事とし、地震時転倒防止のため、脚は必ずM12のアンカーボルトで固定してください。

みずがめ君の設置パターンは、**a****b****c****d**の4つのパターンがあります。

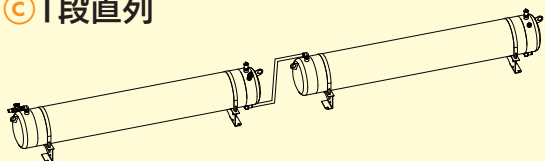
a 1段単体



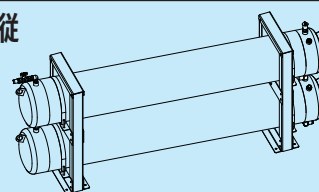
b 1段並列



c 1段直列



d 2段縦



1段置き**a****b****c**

砕石・コンクリート 80mm以上

単体、並列、直列の場合は
コンクリート基礎を
80mm以上で工事を施してください。

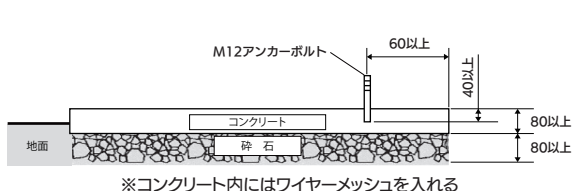
2段縦置き**d**

砕石 120mm以上
コンクリート 150mm以上

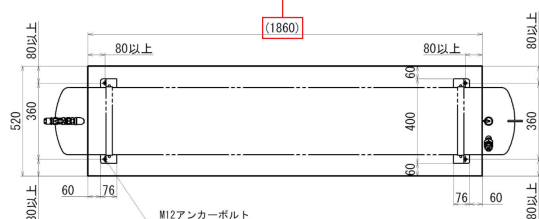
2本置きの場合
コンクリート基礎を
150mm以上で工事を施してください。

【1段】

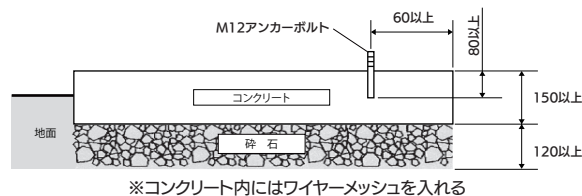
満水時に十分耐える基礎工事とし、地震時転倒防止の為、
ブラケットは必ずアンカーボルトで固定してください。



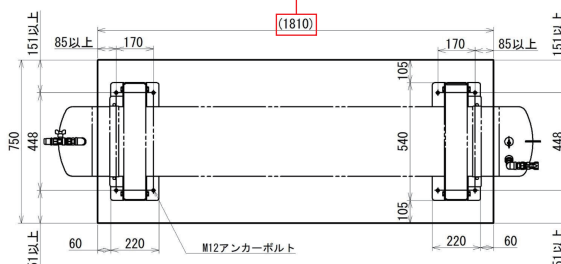
163φ : 1860×520 120φ : 1305×520 85φ : 850×520 50φ : 402×520



【耐震2段置き】 満水時に十分耐える基礎工事とし、地震時転倒防止の為、
ブラケットは必ずアンカーボルトで固定してください。



163φ : 1810×750 120φ : 1257×750



②部品の手配

設置パターンに基づき、下記の表を参照して付属品以外の部品を手配してください。

符号	名称	承認番号	寸法・材質/仕様	設置パターン				備考	
				a	b	c	d		
				1本	2本並列	2本直列	2段置き		
付属品	1	タンク本体	Z-370	ø318.5 L=2168 SUS304	1	2	2	2	
	2	ブラケット		SUS304	2	4	4	0	
	3	固定バンド		SUS304	2	4	4	0	M10 PW、ナット各4本
	4	連結金具		SUS304	0	2	0	0	M12×25 ボルトセット (各8本)
	5	ストリートエルボ		R3/4、Rc3/4 SUS304	1	1	1	1	JIS B 2301
	6	六角ニップル		R3/4、SUS304	1	1	1	1	JIS B 2301
	7	逆止弁付きボール止水栓	653-500-20	R3/4 / JWWA 認定品 E-228	1	1	1	1	(株) カクダイ
	8	オスアダプター	OT-13-20M	R3/4 ø13 / JIS K 6770	1	1	1	1	(株) タブチ
	9	架橋ポリエチレン管	PEZ-13PEB5-3	ø13 / JIS K 6769					
	10	オスエルボ	OT-ME-13	R3/4 ø13 / JIS K 6770	1	3	3	3	(株) タブチ
	11	空気抜き弁 屋内用	TA-18ML	R3/4 / JWWA 認定品 E-184	1	2	2	2	(株) ヨシタケ
		屋外用	TA-22ML	R3/4 / JWWA 認定品 E-180	1	2	2	2	(株) ヨシタケ
	12	逆止弁	CV-25U	20A / JWWA 認定品 F-65	1	1	1	0	(株) ヨシタケ
	13	異形平行ニップル	6465-25×20	G1、G3/4	1	1	1	0	(株) カクダイ
付属品	14	(六角) キャップ		G3/4 M154KM6	1	1	1	1	ミヤコ (株)
	15	インサイドバルブ		501 30-499	1	1	1	1	協永産業 (株)
	16	四角プラグ		R3/4、SUS304	0	1	1	1	JIS B 2301
	17	パッキン		G1用	1	1	1	0	(株) カクダイ
	18	パッキン		G3 / 4用	1	1	1	0	(株) カクダイ
付属品	19	異形プッシング		R3 / 4 R3 / 8 SUS304	0	0	0	2	JIS B 2301
	20	プッシュワフ		Rc5 / 8	0	0	0	2	(株) ニッタ
	21	蝶ボルト		M8	0	0	0	1	
	22	ウレタンチューブ		1M	0	0	0	1	

※ 2段置きでの (符号2) ブラケット・(符号3) 固定バンドは別途購入品扱い

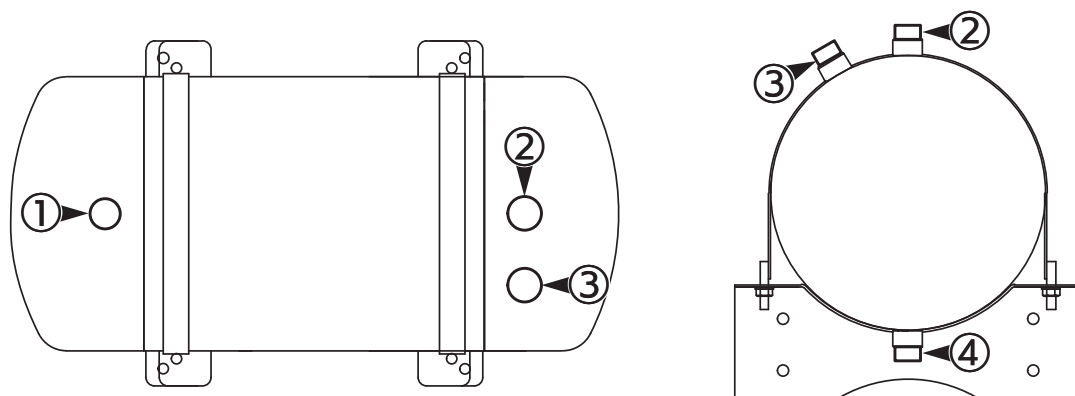
⚠ 注意事項

- 使用圧力 0.75Mpa 以下の水道に使用します。地下水・井戸水とは組み合わせないでください。
- 寒冷地で使用する配管は、原則地上部の水道配管及びみずがめ君との接続部は、保温が必要となりますのでご注意ください。
- 使用温度、使用環境温度は 5~40 度以下になります。

メモ

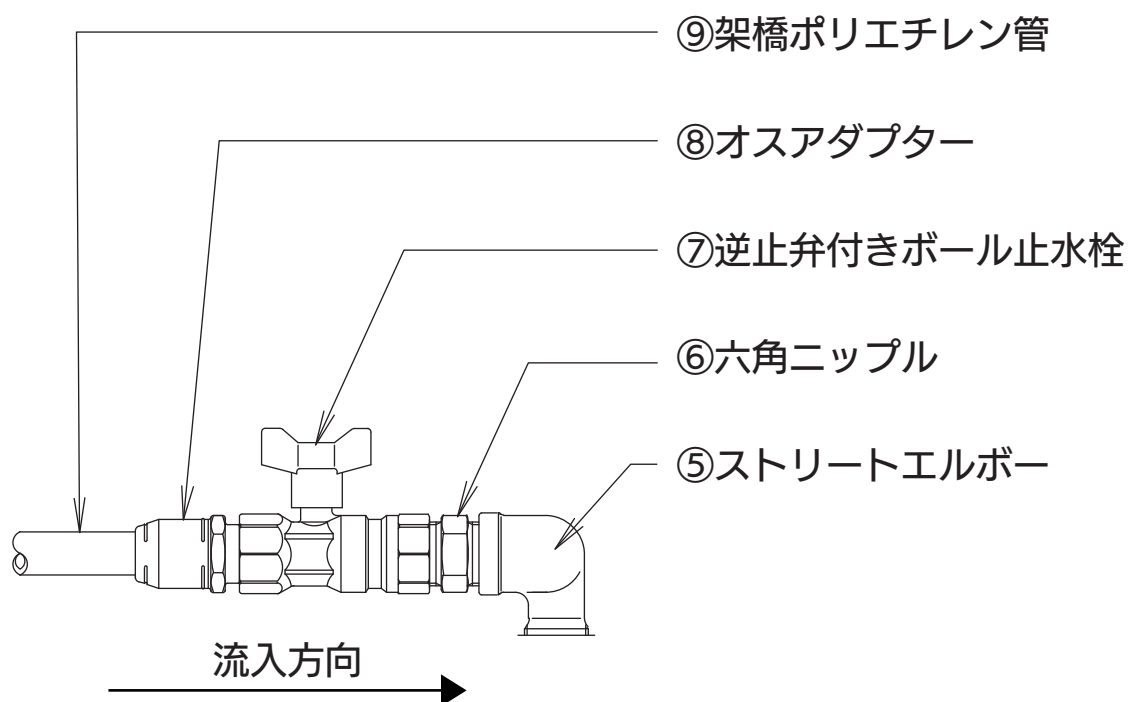
③タンクのシール処理 a b c d 共通の処理です

タンク1本につき4箇所（①～④）にシール処理をします。
設置するタンク全てにシール処理をしてください。



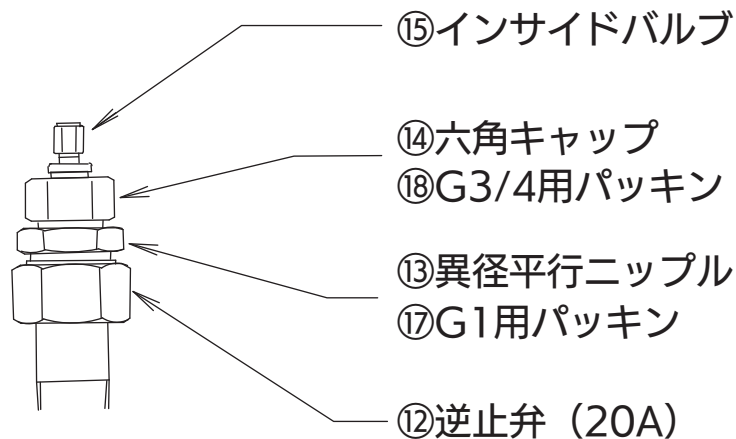
④水流入部の組み立て a b c d 共通の処理です

全てお客様にてご手配ください

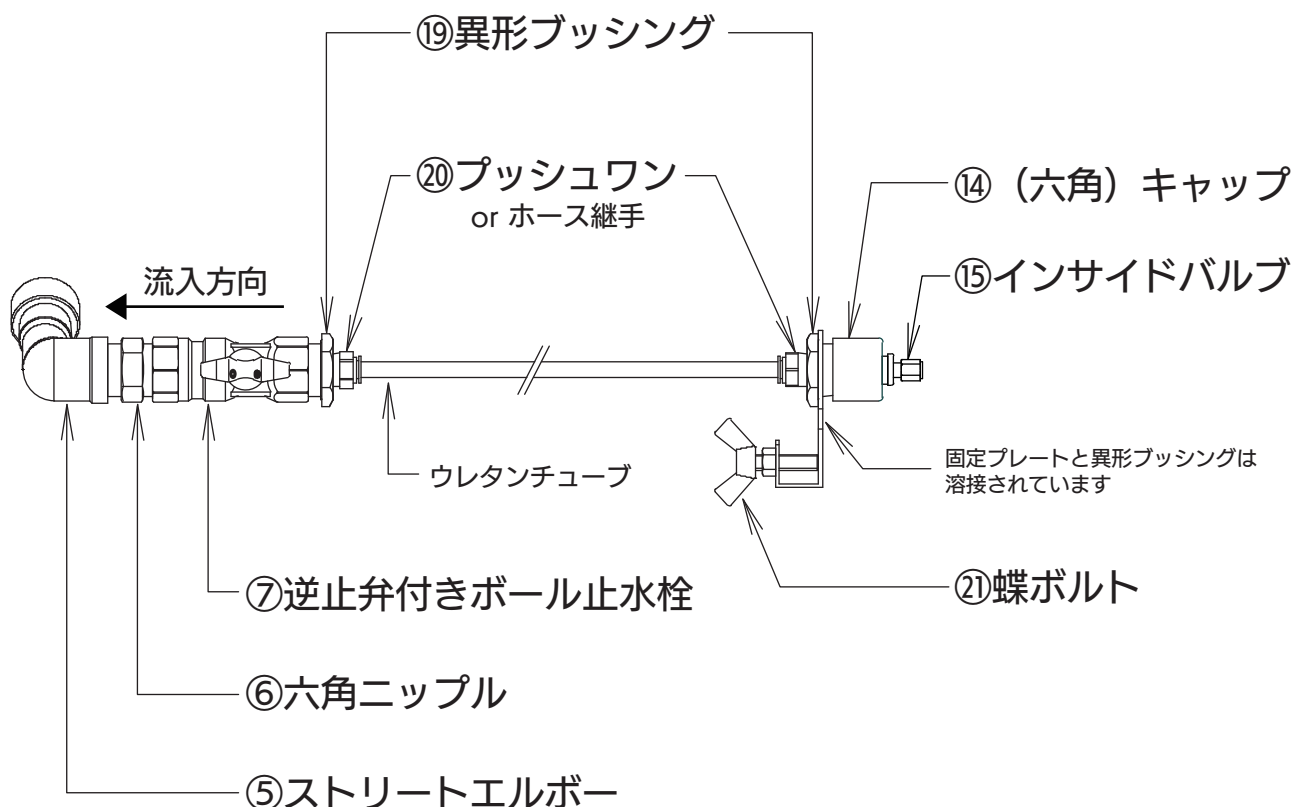


⑤空気流入バルブの組み立て a b c 共通の処理です

⑫⑬⑰⑱はお客様にてご手配ください



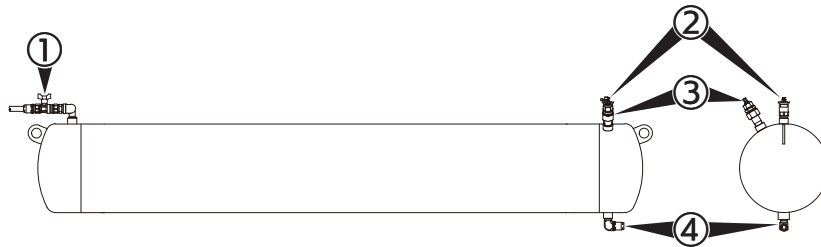
⑤空気流入バルブの組み立て d の処理です



⑥パーツの取り付け



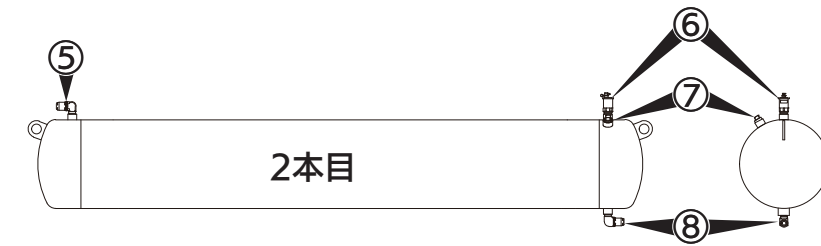
① 1段単体



- ① 入水部
- ② 空気抜き弁
- ③ 空気入れ部
- ④ オスエルボ



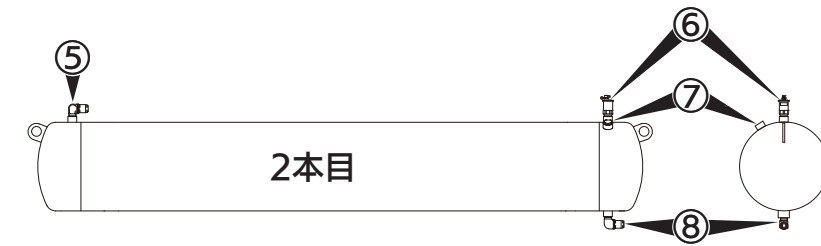
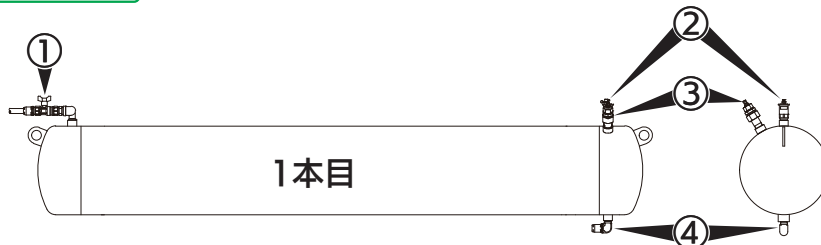
② 1段並列 ③ 1段直列



- ① 入水部
- ② 空気抜き弁
- ③ 空気入れ部
- ④ オスエルボ
- ⑤ オスエルボ
- ⑥ 空気抜き弁
- ⑦ 四角プラグ
- ⑧ オスエルボ



④ 2段縦



- ① 入水部
- ② 空気抜き弁
- ③ まだつけません
- ④ オスエルボ
- ⑤ オスエルボ
- ⑥ 空気抜き弁
- ⑦ 四角プラグ
- ⑧ オスエルボ

③1段単体

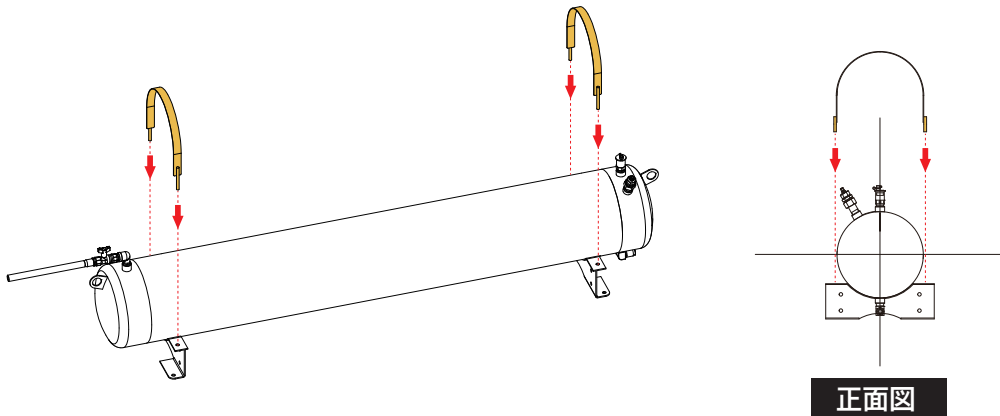
⑦固定ブラケット取り付け



タンク固定ブラケットをコンクリートの基礎のアンカーボルトへ固定します。

③1段単体

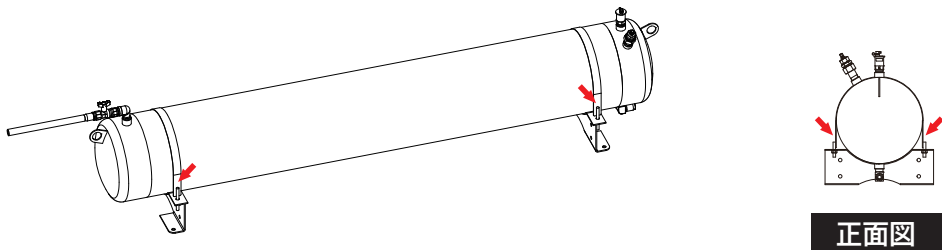
⑧固定バンド仮止め



タンク固定ブラケットにタンクを乗せ、固定バンドで仮止めをし、タンクが水平、①入水部 ②空気抜き弁 ④オスエルボ が地面に対して垂直になるように調整します。

③1段単体

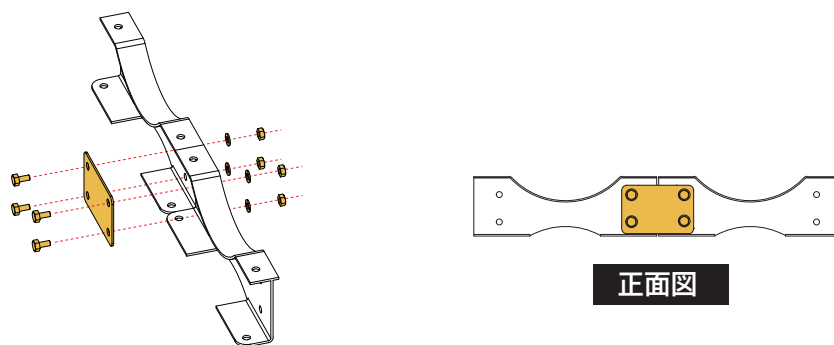
⑨固定バンド本締め



タンクが水平、垂直にセットできたら、固定バンドを本締めして、タンクをしっかりと緩みのない様に固定します。
この時、締めすぎて矢印の部分がねじれない様にしてください。



⑦固定ブラケット連結



2つのタンク固定ブラケットを連結金具で連結します。2個組み立てます。



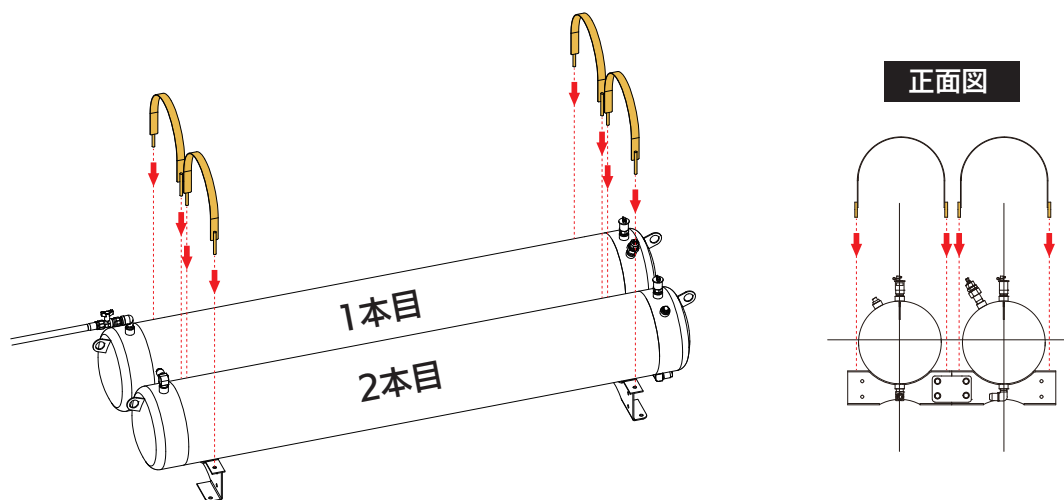
⑧固定ブラケット取り付け



タンク固定ブラケットをコンクリートの基礎のアンカーボルトへ固定します。



⑨固定バンド仮止め

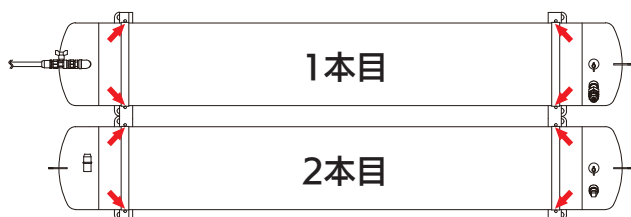


タンク固定ブラケットにタンクを乗せ、固定バンドで仮止めをし、タンクが水平、①入水部 ②空気抜き弁 ④オスエルボ が地面に対して垂直になるように調整します。



⑩固定バンド本締め

上面図



側面図



正面図

タンクが水平、垂直にセットできたら、固定バンドを本締めして、タンクをしっかりと緩みのない様に固定します。

この時、締めすぎて矢印の部分がねじれない様にしてください。

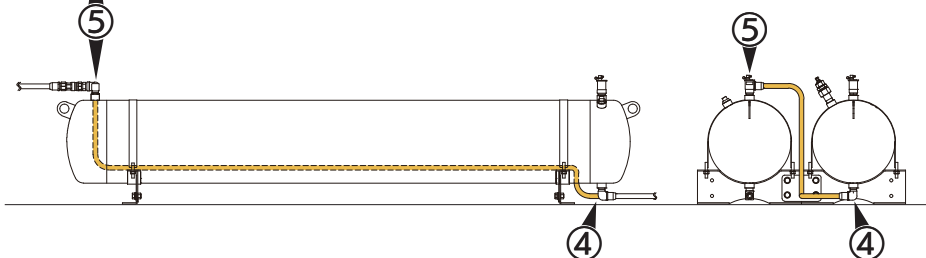


⑪タンクの連結

上面図



側面図



正面図

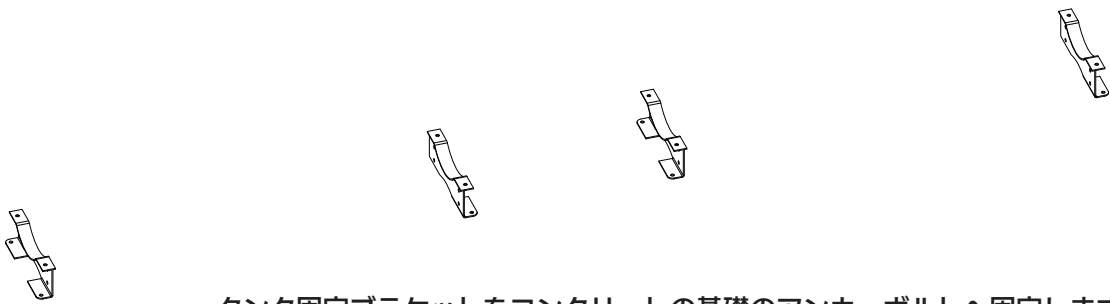
タンク固定ブラケットにタンクが固定されたら、

1本目のタンクの ④オスエルボ と2本目のタンクの ⑤オスエルボ を接続します。



◎1段直列

⑦固定ブラケット取り付け



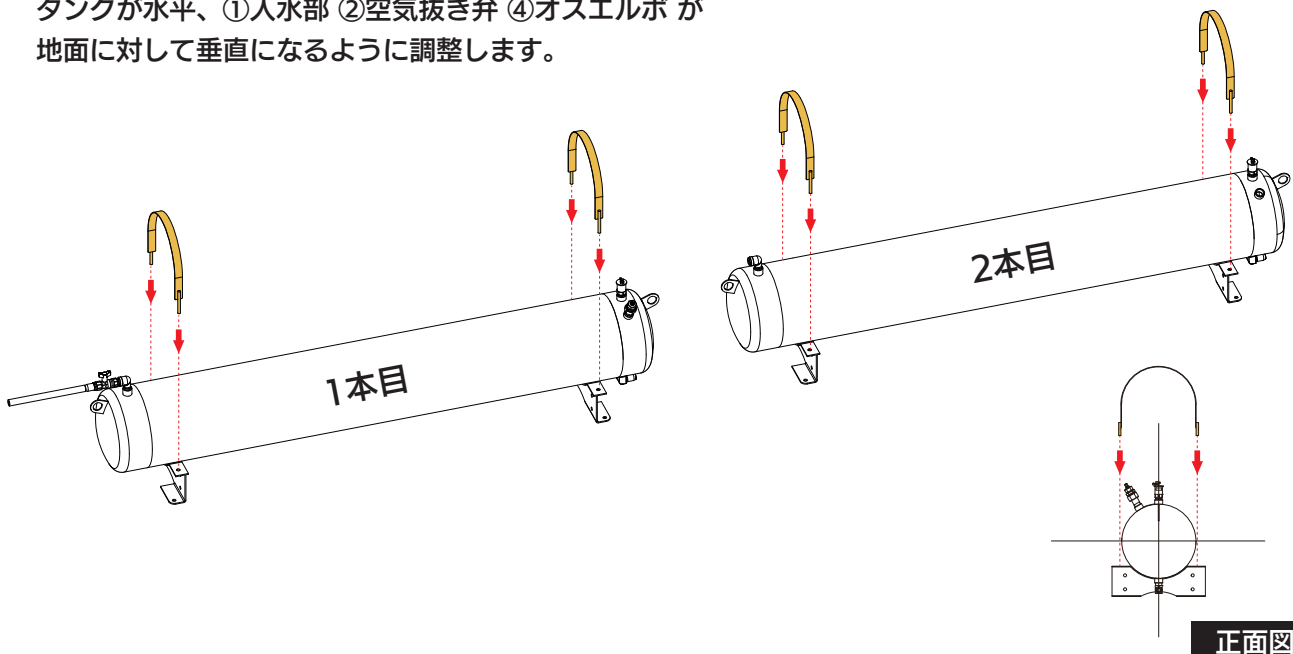
タンク固定ブラケットをコンクリートの基礎のアンカーボルトへ固定します。



◎1段直列

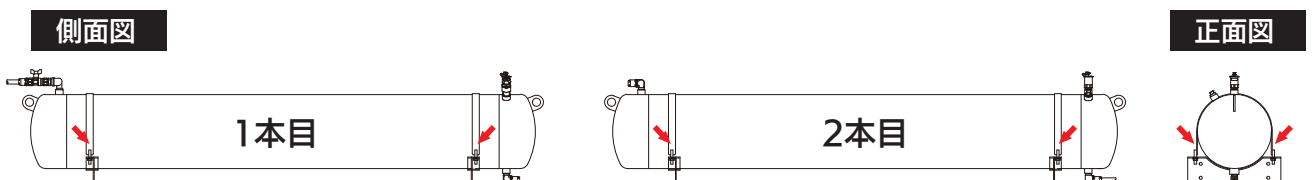
⑧固定バンド仮止め

タンク固定ブラケットにタンクを乗せ、固定バンドで仮止めをし、タンクが水平、①入水部 ②空気抜き弁 ④オスエルボが地面に対して垂直になるように調整します。



◎1段直列

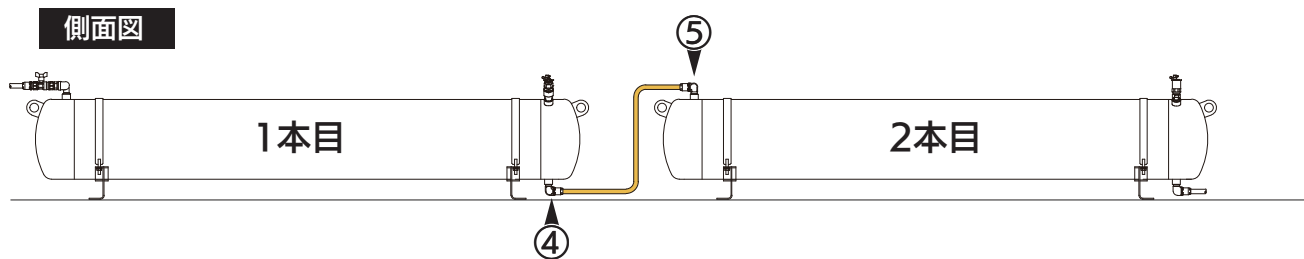
⑨固定バンド本締め



タンクが水平、垂直にセットできたら、固定バンドを本締めして、タンクをしっかりと緩みのない様に固定します。

この時、締めすぎて矢印の部分がねじれない様にしてください。

⑩タンクの連結



タンク固定ブラケットにタンクが固定されたら、
1本目のタンクの ④オスエルボ と2本目のタンクの ⑤オスエルボ を接続します。



④2段縦

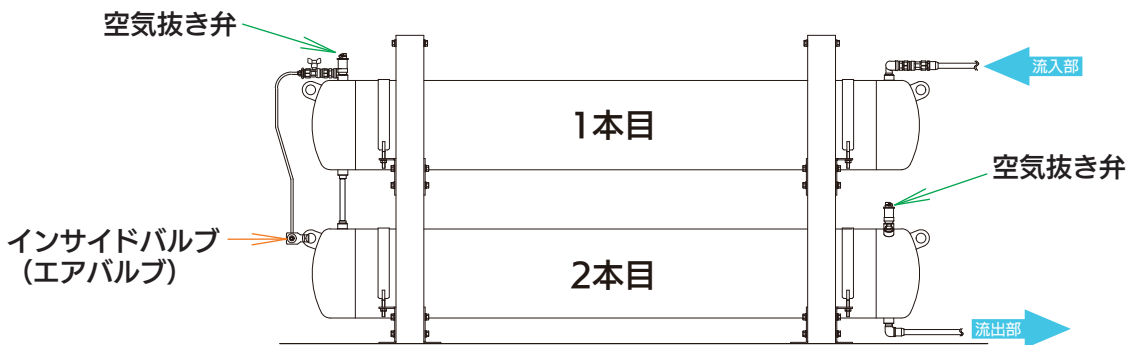
⑦1本目（上の）タンクの向き決め

1本目（上の）タンクの向きを2本目（下の）タンクと同じ向きにするか、逆向きにするかを決めます。

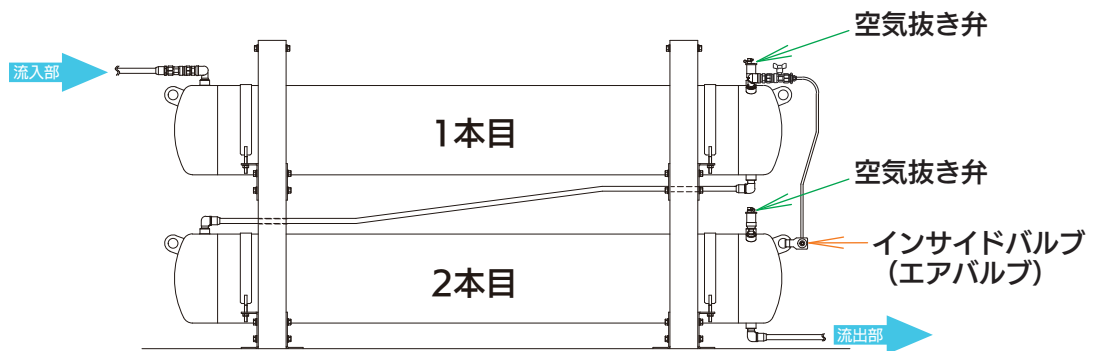
水道水の流入部、流出部を同じ方向でまとめたい、空気抜き弁の位置を揃えたい等、お客様や設置場所の都合を考慮し、設置前に決めてください。

ここでは説明の便宜上、AタイプとBタイプと称します。

Aタイプ 水道水の流入部と流出部が揃うが、空気抜き弁は1本目と2本目で逆になる。

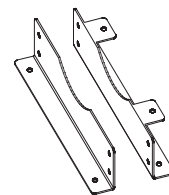
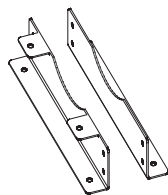


Bタイプ 水道水の流入部と流出部が反対側になるが、空気抜き弁とインサイドバルブの方向が揃い、使用時に操作の必要な部分が片側に集約される。



④2段縦

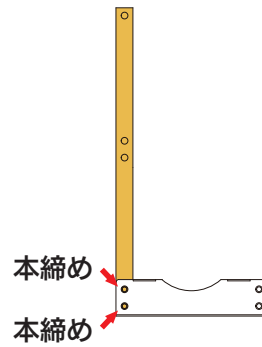
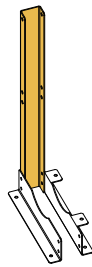
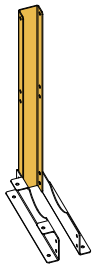
⑧固定ブラケット取り付け



タンク固定ブラケットをコンクリートの基礎のアンカーボルトへ固定します。

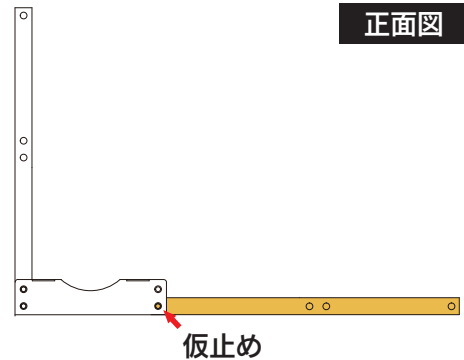
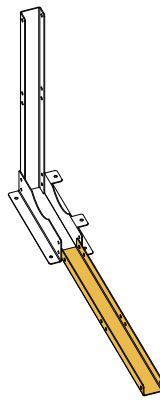
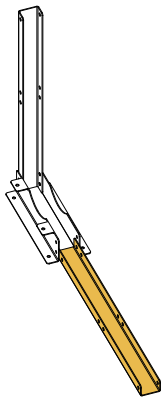


⑨ ブラケット組立て



正面図

コンクリート基礎に固定した、タンク固定ブラケットの向かって奥側に耐震補強ブラケットを取り付け、本締めしてしっかりと固定します。

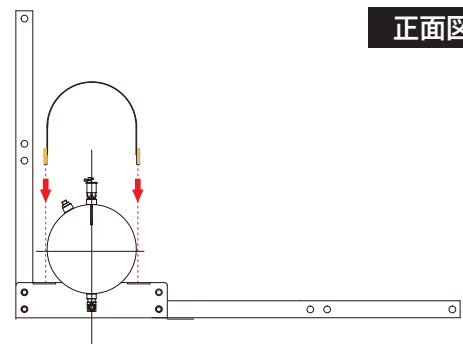
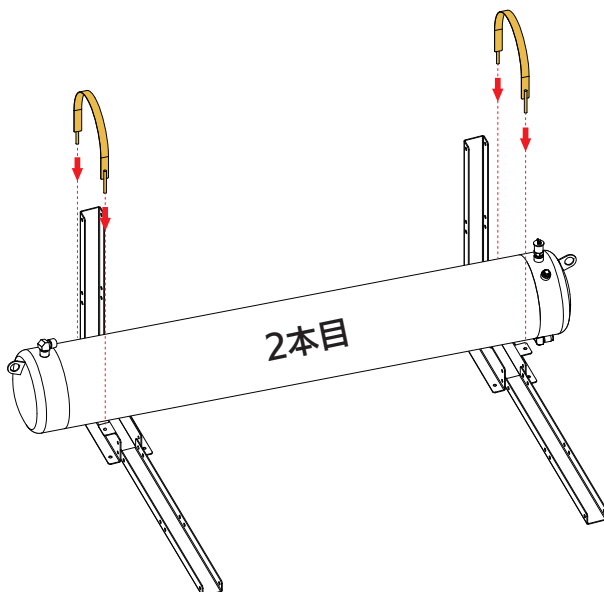


正面図

コンクリート基礎に固定した、タンク固定ブラケットの向かって手前側に耐震補強ブラケットを立てずに取り付け、タンク固定ブラケットの下だけボルトとナットを通し、仮止めしておきます。



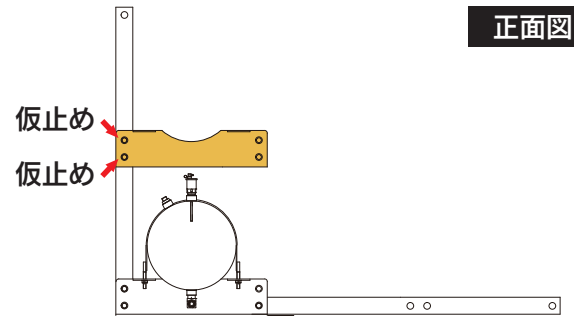
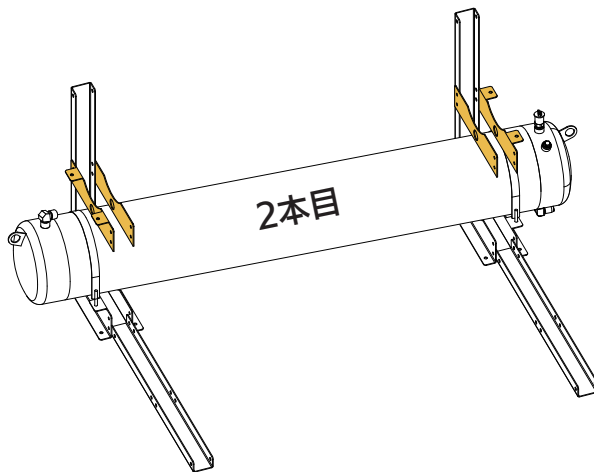
⑩ 2本目タンク仮止め



正面図

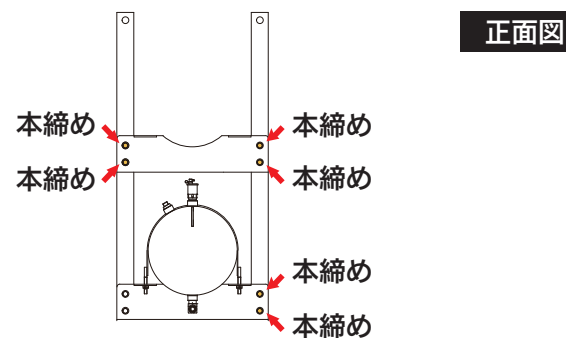
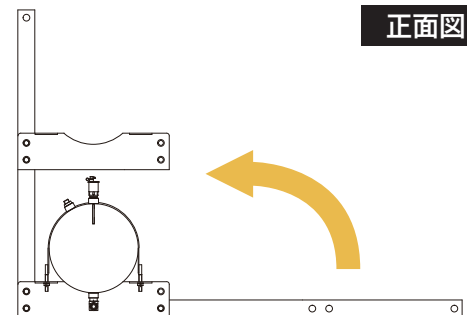
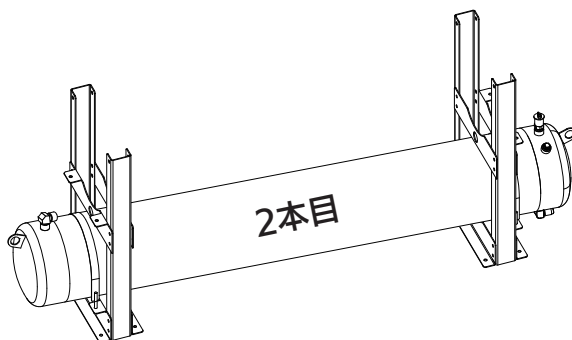
2本目（下）のタンクをタンク固定ブラケットに乗せ、固定バンドで仮止めをし、タンクが水平、⑤オスエルボ⑥空気抜き弁⑧オスエルボが地面に対して垂直になるように調整します。

⑪ ブラケット組立て



1本目のタンク（上）を設置するためのタンク固定ブラケットを、⑧で組み立てた耐震補強ブラケットに取り付け、奥側をボルトとナットで仮止め固定します。

⑫ ブラケット組立て

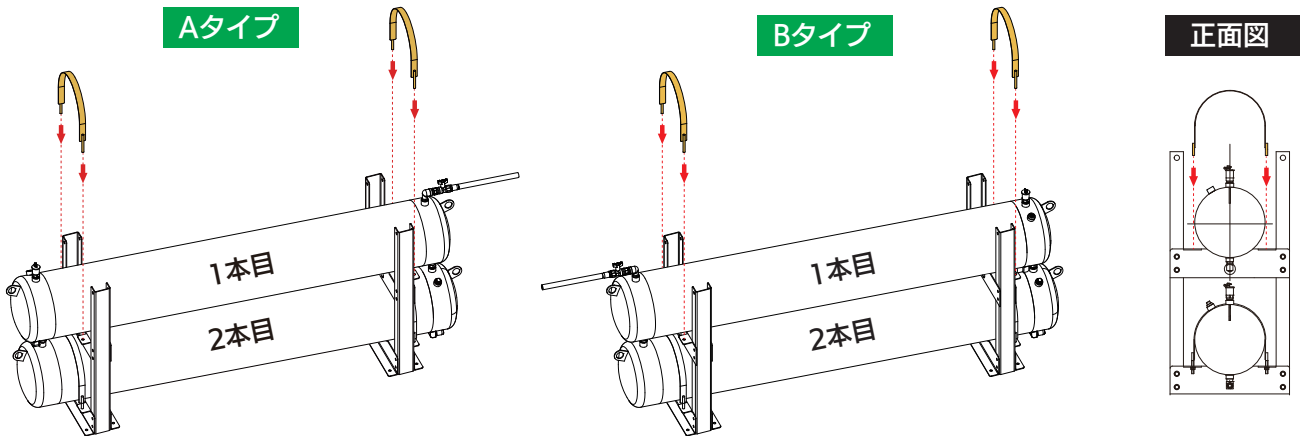


⑧で仮止めした手前側の耐震補強ブラケットを立てた後、仮止めしていたボルトとナットを本締めし、残り3箇所もボルトとナットで本締め処理をします。



④2段階

⑬ 1 本目タンク仮止め

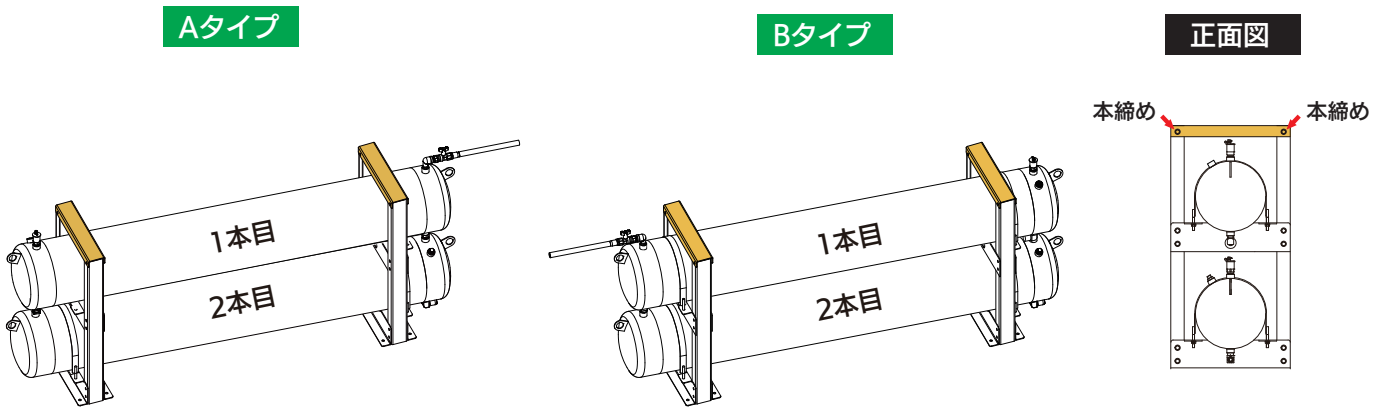


1本目のタンク（上）をタンク固定ブラケットにタンクを乗せ、固定バンドで仮止めをし、タンクが水平、①入水部②空位抜き弁④オスエルボが地面に対して垂直になるように調整します。



④2段階

⑭ ブラケット上部取り付け

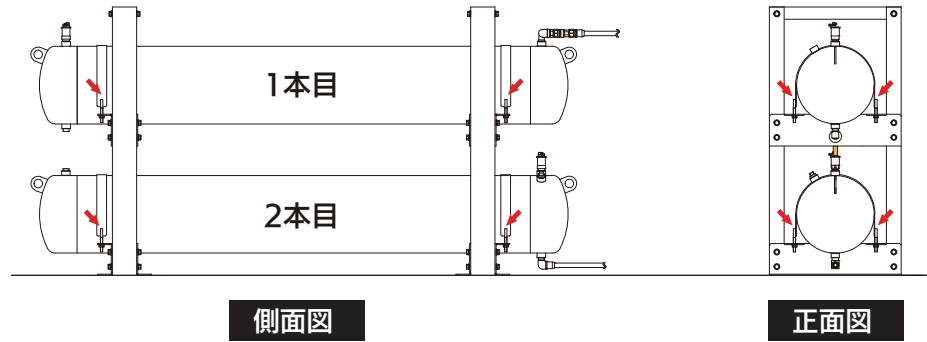


ブラケット上部を取り付けます。本締めしてしっかり固定してください。

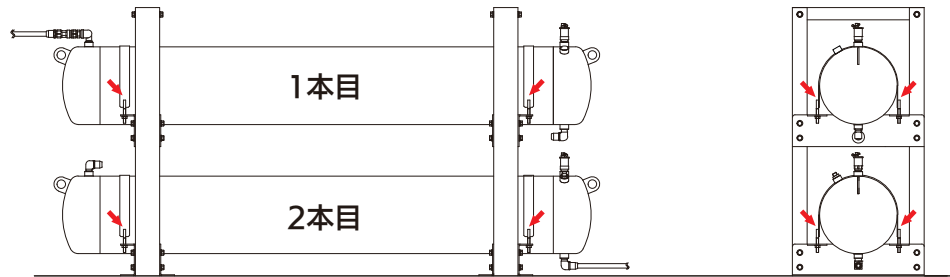


⑮固定バンド本締め

Aタイプ



Bタイプ

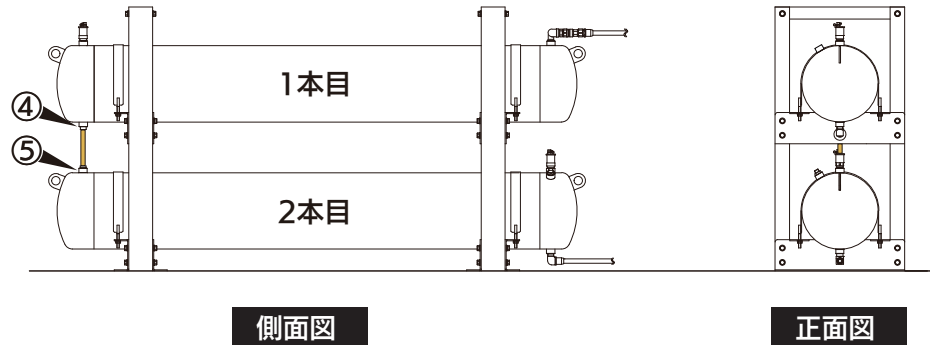


ブラケットに仮止めした2本のタンクの固定バンドを本締めし、しっかりと緩みのない様に固定します。
この時、締めすぎて矢印の部分がねじれない様にしてください。

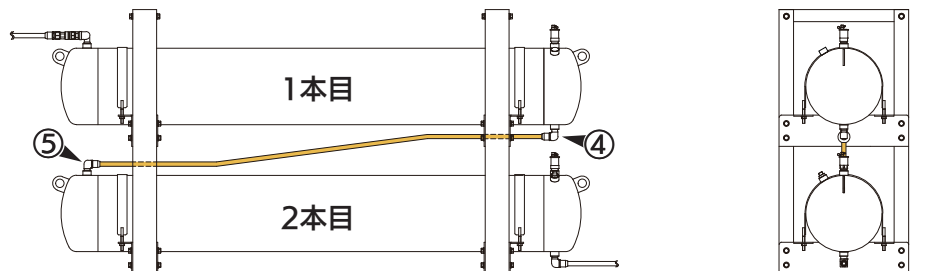


⑯タンクの連結

Aタイプ

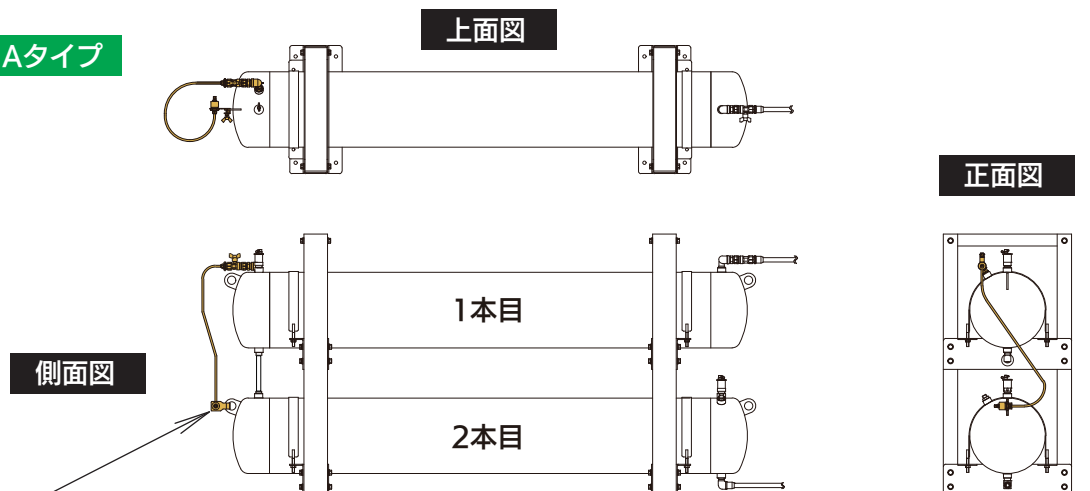


Bタイプ



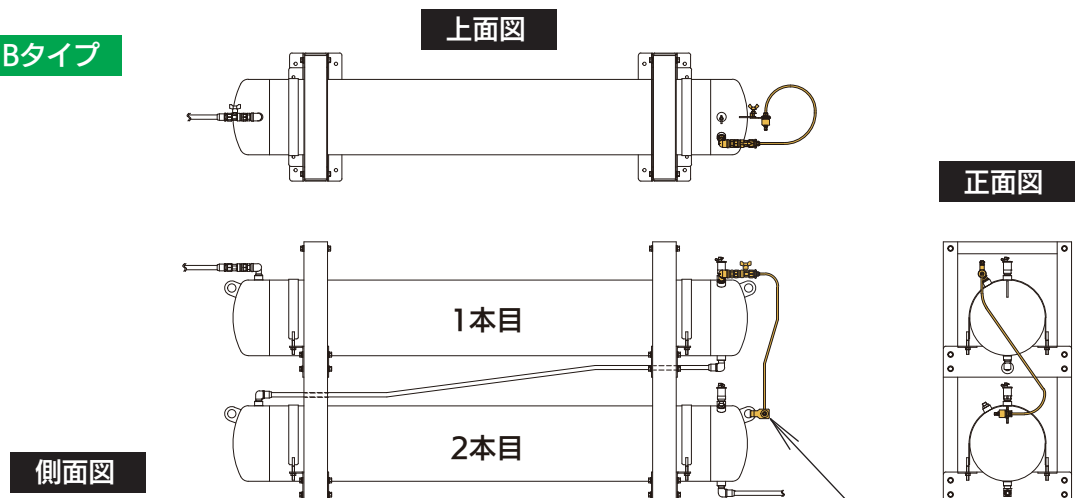
タンク固定ブラケットにタンクが固定されたら、1本目の④オスエルボと2本目の⑤オスエルボを連結します。

Aタイプ



⑤で組み立てた空気流入バルブを取り付けます。
2本目丸輪にバルブ先端をボルトで固定します。

Bタイプ



⑤で組み立てた空気流入バルブを取り付けます。
2本目丸輪にバルブ先端をボルトで固定します。

